平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月11日

上場会社名　株式会社 ファーストリテイリング　　上場取引所　東
コード番号　9983　URL　http://www.fastretailing.com/jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 柳井　正
問合せ先責任者 (役職名) グループ上席執行役員 CFO　(氏名) 岡崎　健　TEL 03-6865-0050

四半期報告書提出予定日　平成25年4月12日　配当支払開始予定日　平成25年5月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	614,841	17.0	96,658	5.3	107,760	15.2	65,449	13.2
24年8月期第2四半期	525,502	14.9	91,752	11.8	93,546	20.5	57,796	38.7

(注)包括利益　25年8月期第2四半期　152,336百万円 (70.2%)　24年8月期第2四半期　89,513百万円 (95.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第2四半期	642.52	641.86
24年8月期第2四半期	567.61	567.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第2四半期	806,479	540,439	64.6
24年8月期	595,102	394,892	65.0

(参考) 自己資本　25年8月期第2四半期　521,348百万円　24年8月期　386,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	―	130.00	―	130.00	260.00
25年8月期	―	140.00			
25年8月期(予想)			―	140.00	280.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 8月期の連結業績予想(平成24年 9月 1日～平成25年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,103,000	18.8	147,500	16.6	153,500	22.6	91,500	27.7	898.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) FAST RETAILING (SHANGHAI) TRADING CO., LTD.、J Brand, Inc. 、 除外 ―社 (社名)

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期2Q	106,073,656 株	24年8月期	106,073,656 株
② 期末自己株式数	25年8月期2Q	4,191,166 株	24年8月期	4,219,434 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期2Q	101,863,996 株	24年8月期2Q	101,824,919 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（７）重要な後発事象 …… 12
４．補足情報 …… 12
（１）部門別売上実績 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年９月１日～平成25年２月28日）における連結業績は、売上高6,148億円（前年同期比17.0%増）、営業利益966億円（同5.3%増）、経常利益1,077億円（同15.2%増）、四半期純利益654億円（同13.2%増）と大幅な増収増益となりました。主な内訳としては、特に海外ユニクロ事業及びグローバルブランド事業で業績が好調だったことが増収増益の要因となっております。また、国内ユニクロ事業におきましては、販売促進活動を強化した結果、増収となりましたが、値引き率の拡大等により営業利益では減益となっております。なお、当期初に比べ、為替が円安となったことに伴い為替差益111億円を計上したことで、経常利益、四半期純利益は二桁の増益となっております。

当社グループは、中期ビジョンとして「世界No.１アパレル製造小売グループとなる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。特に海外におけるユニクロ事業の拡大に力を注いでおり、中国・香港、韓国、シンガポール、台湾、マレーシア、タイ、フィリピンといったアジア地区における店舗数の拡大や、世界主要都市におけるグローバル旗艦店、繁盛店の出店により、事業基盤の強化を図っております。また、グローバルブランド事業のセオリー事業、ジーユー事業などにおいても積極的に出店を進め、事業の拡大を目指しております。なお、2012年12月には米国のプレミアムデニムのリーディングカンパニー、J Brandグループを連結子会社化いたしました。

[国内ユニクロ事業]

国内ユニクロ事業の当第２四半期連結累計期間における売上高は3,872億円（前年同期比6.2%増）、営業利益は689億円（同4.5%減）と増収減益となりました。売上高が前年同期比6.2%増収となった要因は、既存店売上高が3.6%増になったこと、スクラップ＆ビルドによる店舗の大型化を進めた結果、１店舗当たりの売上高が増加したためです。既存店売上高3.6%増の内訳は、客数が6.3%のプラス、客単価が2.5%のマイナスです。客数がプラスに転じた要因は、販売促進活動を強化した結果、ウルトラライトダウン、ヒートテック、暖パンといったコア商品の販売が好調だったことによります。客単価がマイナスになった要因は、イージーレギンスパンツなどの一品単価の低い商品の販売が好調だったことに加え、値引きを強めた影響によります。なお、前年度まで客数が減少しており、これを経営課題として取り組んでおりましたが、この上期には客数を前年同期比プラスに転換させることができました。営業利益が減益となった原因は、当第２四半期連結累計期間の売上高総利益率が46.7%と前年同期比で1.5ポイント低下したことによります。10月から集客を目的とした「期間限定値引販売」の実施日数及び品番数を増やした影響により、値引き率が拡大したこと、冬物在庫処分が進んだことが売上高総利益率低下の要因となっております。なお、２月末の直営店舗数は828店舗（フランチャイズ店19店舗除く）と、前年同期末比で増減はございません。

[海外ユニクロ事業]

海外ユニクロ事業の当第２四半期連結累計期間の売上高は前年同期比54.0%増の1,306億円、営業利益は同39.8%増の160億円と、大幅な増収増益を達成いたしました。特に、中国・香港、台湾、韓国、その他のアジアで、大幅な増収増益となっております。また、欧米事業の業績も計画通り推移いたしました。出店に関しましては、特に中国・香港、韓国、台湾等のアジア地区で、積極的な出店が進み、当第２四半期連結累計期間における海外ユニクロ事業全体の純増数は67店舗、２月末には359店舗に達しました。

[グローバルブランド事業]

グローバルブランド事業の当第２四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比27.8%増の957億円、営業利益は同8.5%増の85億円となりました。セオリー事業は日米ともに増収ではありましたが、経費増の影響で上期は若干の減益となっております。ただし、通期では増益を見込んでおります。ジーユー事業は、計画通り二桁の増収増益になりました。当第２四半期連結累計期間も既存店売上高の高い伸びが続いております。コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業の業績は、ほぼ計画通り、前年並みの業績となっております。また、12月よりファーストリテイリンググループに加わったJ Brand事業は、12月20日より連結の範囲に含めております。約２か月間の連結財務諸表に与える影響としては、売上高は25億円の増加、営業利益は２億円の減少となっております。営業利益の減少の主な要因は、買収時に算定された無形固定資産の償却等によるものです。

[ＣＳＲ活動]

当社グループのＣＳＲ活動は「社会的責任を果たす」「社会に貢献する」「社会の問題を解決し新たな価値を創造する」ことを基本方針とし、グローバルかつ現地に根ざした活動に取組んでいます。「社会的責任」の重点活動は「労働環境モニタリング」、「環境保全」です。パートナー工場には外部監査機関による「労働環境モニタリング」を定期的に実施し、児童労働、賃金未払い、環境汚染などがない適正な労働環境の実現を目指しています。環

境負荷が高い染色などを行う素材工場には「環境モニタリング」の実施や改善指導を通じ、ともに環境負荷低減に取り組んでいます。「社会貢献」では、お客様の元でご不要になったユニクロやジーユーの商品をお預かりし、服が必要な方々へ寄贈する「全商品リサイクル活動」をグローバルに展開しています。2006年に日本で回収を開始し、現在９カ国のユニクロ、ジーユーの店舗で累計2050万枚以上を回収（2013年１月末現在）。2013年１月には中東地域へ初めて訪問し、ヨルダンのシリア難民へ18万着の服を寄贈いたしました。また、子どもたちの未来や夢の支援を目的とした「Clothes for Smiles」では、46ヶ国から寄せられた739件のアイデアを審査し、３月に選考結果を発表、発案者とともに実現に向け活動しております。「ユニクロ復興応援プロジェクト」において東北で活動するＮＧＯ５団体と、従業員のボランティア派遣や、ユニクロのデザイナーによるＴシャツ作成プロジェクトなど、様々な協働活動を実施しております。「社会的価値創造」として、バングラデシュで貧困・衛生・教育などの社会的課題の解決を目指す「ソーシャルビジネス」に取り組んでおります。生産から販売まで一貫して現地で行っているビジネスモデルを再構築し、新たな商品開発や現地マーケティングの強化を通じて、さらなる事業拡大と雇用創出を目指します。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は8,064億円となり、前連結会計年度末に比べ2,113億円の増加となりました。これは主として、有価証券が646億円増加したこと、為替予約が809億円増加したこと、のれんが182億円増加したことによるものです。

負債は2,660億円となり、前連結会計年度末に比べ658億円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が242億円増加したこと、長期借入金が132億円増加したことによるものです。

純資産は5,404億円となり、前連結会計年度末に比べ1,455億円の増加となりました。これは主として、利益剰余金が522億円増加したこと、繰延ヘッジ損益が650億円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べ761億円増加し、3,421億円となりました。

営業活動による収入は、1,120億円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益1,065億円によるものです。

投資活動により支出した金額は、417億円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出107億円、新規連結子会社取得による支出267億円によるものです。

財務活動により支出した金額は、81億円となりました。これは主として、配当金の支払額132億円によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第２四半期連結累計期間の業績を考慮し、以下のとおり修正いたします。

なお、平成25年１月10日付「平成25年８月期 第１四半期決算短信」で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想(A)	1,069,000	147,500	146,500	87,000	854.14
今回修正予想(B)	1,103,000	147,500	153,500	91,500	898.09
増減額(B-A)	34,000	－	7,000	4,500	－
増減率(%)	3.18%	－	4.78%	5.17%	－
前期実績	928,669	126,450	125,212	71,654	703.62

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間において、FAST RETAILING (SHANGHAI) TRADING CO., LTD.、Theory Livermoreを新たに設立したため、UNIQLO USA LLC、UNIQLO California LLC、UNIQLO New Jersey LLCについては今期より営業を開始し、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、当第２四半期連結会計期間において、J Brand Holdings, LLC、JB Intermediate Holdings, Inc.、J Brand, Inc.を新規に取得したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

従来より、当社及び連結子会社が保有する有形固定資産の「建物附属設備及び構築物」の耐用年数については、３～10年の範囲内で各資産の使用実態を勘案した年数を選択し、減価償却を行ってきました。第１四半期連結会計期間において使用実態を見直した結果、従来の耐用年数よりも長期間使用可能であることが明らかとなった一部の資産については、従来の耐用年数の範囲内で変更しております。これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年８月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	132,238	143,724
受取手形及び売掛金	19,920	30,142
有価証券	133,788	198,463
たな卸資産	98,963	109,629
繰延税金資産	16,987	2,778
未収還付法人税等	10,628	131
為替予約	－	80,995
その他	12,256	11,878
貸倒引当金	△268	△312
流動資産合計	424,516	577,433
固定資産		
有形固定資産	69,222	82,607
無形固定資産		
のれん	15,992	34,195
その他	22,224	45,498
無形固定資産合計	38,216	79,693
投資その他の資産	63,146	66,745
固定資産合計	170,586	229,046
資産合計	595,102	806,479
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,142	95,418
短期借入金	2,505	1,412
1年内返済予定の長期借入金	3,410	2,488
未払法人税等	27,738	37,235
為替予約	22,625	－
引当金	8,430	6,110
その他	37,525	72,345
流動負債合計	173,378	215,010
固定負債		
長期借入金	9,129	22,388
引当金	64	65
その他	17,638	28,575
固定負債合計	26,831	51,029
負債合計	200,210	266,040

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年８月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年２月28日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	5,541	5,824
利益剰余金	419,093	471,302
自己株式	△16,003	△15,899
株主資本合計	418,905	471,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,434	△9,742
繰延ヘッジ損益	△14,532	50,500
為替換算調整勘定	△1,193	9,089
その他の包括利益累計額合計	△32,160	49,847
新株予約権	755	1,311
少数株主持分	7,392	17,779
純資産合計	394,892	540,439
負債純資産合計	595,102	806,479

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年２月28日）
売上高	525,502	614,841
売上原価	257,016	310,876
売上総利益	268,486	303,965
販売費及び一般管理費	176,733	207,306
営業利益	91,752	96,658
営業外収益		
受取利息及び配当金	274	259
為替差益	1,672	11,129
その他	800	364
営業外収益合計	2,746	11,754
営業外費用		
支払利息	314	243
その他	638	409
営業外費用合計	953	652
経常利益	93,546	107,760
特別利益		
固定資産売却益	238	66
特別利益合計	238	66
特別損失		
投資有価証券評価損	116	－
固定資産除却損	617	170
買収関連費用	－	739
その他	440	336
特別損失合計	1,175	1,246
税金等調整前四半期純利益	92,609	106,580
法人税、住民税及び事業税	31,741	36,851
法人税等調整額	1,118	1,975
法人税等合計	32,860	38,827
少数株主損益調整前四半期純利益	59,749	67,753
少数株主利益	1,952	2,303
四半期純利益	57,796	65,449

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年２月28日）
少数株主損益調整前四半期純利益	59,749	67,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,366	6,691
繰延ヘッジ損益	26,597	65,033
為替換算調整勘定	1,800	12,858
その他の包括利益合計	29,764	84,583
四半期包括利益	89,513	152,336
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,387	147,457
少数株主に係る四半期包括利益	2,126	4,879

（３）【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年２月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	92,609	106,580
減価償却費及びその他の償却費	8,665	10,370
のれん償却額	3,104	2,322
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△96	△633
その他の引当金の増減額（△は減少）	△2,961	△2,917
退職給付引当金の増減額（△は減少）	0	0
受取利息及び受取配当金	△274	△259
支払利息	314	243
為替差損益（△は益）	△650	△6,446
固定資産除却損	617	170
売上債権の増減額（△は増加）	△3,607	△6,247
たな卸資産の増減額（△は増加）	5,983	1,505
仕入債務の増減額（△は減少）	22,312	17,164
その他の資産の増減額（△は増加）	1,717	△467
その他の負債の増減額（△は減少）	△1,340	5,849
その他	154	1,470
小計	126,549	128,704
利息及び配当金の受取額	279	259
利息の支払額	△334	△246
法人税等の支払額	△12,810	△26,666
法人税等の還付額	10,051	10,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,736	112,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,681	△10,783
有形固定資産の売却による収入	206	126
無形固定資産の取得による支出	△5,336	△2,771
敷金及び保証金の差入による支出	△3,159	△2,234
敷金及び保証金の回収による収入	1,453	864
建設協力金の支払による支出	△311	△1,141
建設協力金の回収による収入	942	867
預り保証金の受入による収入	38	30
預り保証金の返還による支出	△126	△142
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	―	△26,771
関係会社株式の取得による支出	△543	―
その他	△56	214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,573	△41,741

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年２月28日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,763	△1,360
長期借入れによる収入	－	14,870
長期借入金の返済による支出	△1,879	△6,017
配当金の支払額	△8,652	△13,240
少数株主への配当金の支払額	△248	△891
リース債務の返済による支出	△1,058	△1,665
その他	10	201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,065	△8,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,657	13,885
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	95,754	76,129
現金及び現金同等物の期首残高	202,104	266,020
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	574	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	298,433	342,151

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年９月１日　至　平成24年２月29日）

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他（注２）	調整額（注３）	四半期連結損益計算書計上額（注４）
	国内ユニクロ事業	海外ユニクロ事業	グローバルブランド事業（注１）				
売上高	364,592	84,820	74,887	524,300	1,201	－	525,502
セグメント利益	72,248	11,459	7,914	91,621	57	73	91,752

（注）１　従来よりグローバルブランド事業に含まれていたキャビン事業は、平成23年２月に事業休止したことにより、当第２四半期連結累計期間には含まれておりません。

２　「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

３　セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△3,104百万円が含まれております。

４　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年９月１日　至　平成25年２月28日）

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他（注２）	調整額（注３）	四半期連結損益計算書計上額（注４）
	国内ユニクロ事業	海外ユニクロ事業	グローバルブランド事業（注１）				
売上高	387,246	130,663	95,726	613,636	1,205	－	614,841
セグメント利益	68,996	16,022	8,585	93,604	52	3,000	96,658

（注）１　当第２四半期連結会計期間よりグローバルブランド事業に、新規に取得したJ Brand事業（「J BRAND」ブランドの国内・海外における衣料品販売事業）を含めております。

２　「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

３　セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△2,322百万円が含まれております。

４　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。

４．補足情報

(1) 部門別売上実績

部門	前年同四半期 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）		当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年２月28日）		（参考） 平成24年８月期	
	売上高 （百万円）	構成比 （%）	売上高 （百万円）	構成比 （%）	売上高 （百万円）	構成比 （%）
メンズ	158,443	30.2	166,084	27.0	270,435	29.1
ウィメンズ	166,824	31.7	182,249	29.6	286,079	30.8
キッズ・ベビー	20,898	4.0	21,353	3.5	32,901	3.5
グッズ・その他	11,658	2.2	11,255	1.8	19,562	2.1
国内ユニクロ商品売上合計	357,825	68.1	380,943	61.9	608,978	65.5
ＦＣ関連収入・補正費売上高	6,767	1.3	6,303	1.0	11,084	1.2
国内ユニクロ事業合計	364,592	69.4	387,246	62.9	620,063	66.7
海外ユニクロ事業	84,820	16.1	130,663	21.3	153,176	16.5
ユニクロ事業合計	449,413	85.5	517,909	84.2	773,240	83.2
グローバルブランド事業	74,887	14.3	95,726	15.6	153,031	16.5
その他事業	1,201	0.2	1,205	0.2	2,397	0.3
合計	525,502	100.0	614,841	100.0	928,669	100.0

（注）１　ＦＣ関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ（補正）の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
２　ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
３　グローバルブランド事業は、コントワー・デ・コトニエ事業（「COMPTOIR DES COTONNIERS（コントワー・デ・コトニエ）」ブランドの国内・海外における衣料品販売事業）、プリンセス タム・タム事業（「PRINCESSE TAM.TAM（プリンセス タム・タム）」ブランドの欧州における衣料品販売事業）、ジーユー事業（「ジーユー」ブランドの衣料品販売事業）、セオリー事業（「Theory（セオリー）」、「Helmut Lang（ヘルムート・ラング）」、「ＰＬＳＴ（プラステ）」ブランド等の国内・海外における衣料品販売事業）及びJ Brand事業(「J BRAND（ジェイブランド）」ブランドの国内・海外における衣料品販売事業)で構成されております。
４　J Brand事業につきましては、当第２四半期連結会計期間に新規に取得しており、前年同四半期の数値には含まれておりません。
５　その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
６　上記金額には、消費税等は含まれておりません。